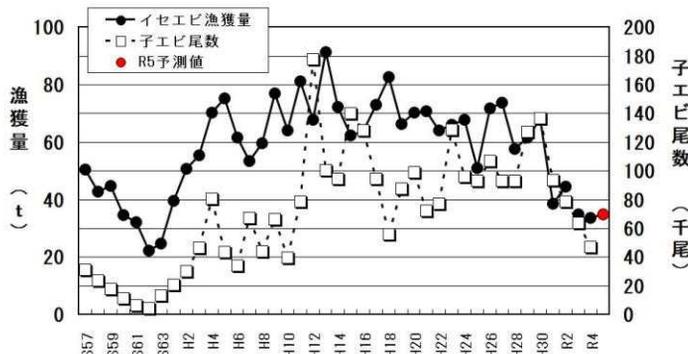


令和5年10月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

イセエビの漁況予測



↑エビ網の手入れ作業風景

当场では毎年イセエビの漁期(9月16日～翌年5月14日)前に、下田・南伊豆地区の漁況予測を発表しています。漁獲量と子エビ尾数の推移を上図に示しました。両者とも令和に入り減少傾向が顕著になり、特に漁獲量では低水準であった昭和時代と同水準まで落ち込んでいます。漁況予測は令和以降の子エビと漁

獲量の関係式から35トンと予測しました。

今後のイセエビ増殖のためには、県漁業調整規則で定められた小型イセエビ保護のための体長制限の遵守(13cm以下漁獲禁止)の他、各地区の自主的な管理である操業期間や日数、網の数や長さ、漁場の制限などの再検討が必要です。

定置網でキハダ・カマスが豊漁

先月から、伊豆東岸の定置網でキハダとヤマトカマス(水カマス)が好調です。

キハダは8月の水揚量が10.1トンと記録のある1987年以降最高を記録し、9月になっても引き続き、尾叉長1.0~1.5mのサイズが水揚されています。ヤマトカマスも8月の水揚量が55.1トンと1982年以降最高を記録し、9月も好調な水揚げが続いています。

マアジの子どもでもあるじんだも引き続き多く水揚げされており、海の状況が前年までとは変わってきているようです。



↑水揚げされたヤマトカマス(左)とキハダ(右)

小学生、大学生が見学に来場

9月20日、伊豆の漁業を学ぶということで、2校の学校が施設見学のため来場しました。

午前中は地元の浜崎小学校の1、2年生29名が来場し、伊豆の漁業についての講義と餌やり体験をしてもらいました。午後には日本大学海洋生物資源科学科の学生24名が来場し、伊豆の漁業と伊豆分場の業務について講義を受けた後、施設を見学してもらいました。この中から伊豆の漁業に興味をもってくれる人が1人でも出てくれればと思っています。



↑イセエビに触れる子どもたち

10月の予定 ●中央ブロック資源海洋調査研究会(11~12日) ●ブリ資源評価・予報技術連絡会議(25~26日浜田市) ●南伊豆町 磯焼け講演会(26日) ●東部地区漁業士会 行政との意見交換会(30日) ●イセエビ測定 ●キンメダイ仔魚飼育試験 ●潜水調査(稲取 アントクメ調査、菖蒲沢 宇佐美 磯焼け調査)

連絡先: 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話: 0558-22-0835

アドレス: suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ: <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当场には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。